

科目名 **現代文 B**

普通科必修
3年次・2単位

目標 近代以降の様々な文章を、目的や表現にそつて的確に読み取り、論理的に思考することによって、筆者の主張や登場人物の心情などを把握・理解できるようになることが目標です。

位置づけ 国語総合の現代文分野で学習した内容をさらに深く理解し、読解力を定着させることを目的としています。特に評論と小説を中心とした近代以降の様々な文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を深めます

■使用する教材

- ・教科書 現代文 B 改訂版 筑摩書房
- ・問題集 新版三訂新訂総合国語便覧（第一学習社）
大学入試国語対策 知識問題演習（桐原書店）
現代文共通テスト対策完答 20（尚文出版）

■学習する単元とおおよその時期

- ・【4～6月】
ピジンという生き方
模倣と「なぞり」
捨てない女 絵画は紙幣に憧れる

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

教科書を基本としますが、効率性を高めるために、内容に応じて学習プリントも使用します。受験への意識付けも大事ですが、やはり基本を大事に表現力や記述力の育成に力を入れ、授業を大事にする姿勢を継続させたいと考えています。

本文の読解・説明を通して正しく筆者の主張を読み取り、随時指名して発問への解答を求めます。漢字・語彙・文法事項などの習得のため、単元ごとに確認の小テストを実施します。

- 「美味しさ」について
- 【7～9月】
物語と歴史のあいだ 技術の正体
骨とまぼろし 権力とは何か
- 【10～12月】
記憶の満点
- 【1～2月】
共通テスト対策演習
2次対策演習

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識をしっかりと身に付けている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりそれを表現したりできる。	国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
	B 上記のことがおおむね達成できている		
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト 小テスト 課題の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化のみ）

単 元 名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠのみ）

単 元 名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について
- ・教員の授業について